



わが国の人口推計

1年間で28.4万人減  
2年連続の大幅減少

総務省統計局が発表した「人口推計（平成24年10月1日現在）」によると、定住外国人を含むわが国の総人口は1億2751万5千人で、23年10月から24年9月までの1年間に28万4千人（0.22%）の大幅減少でした。

人口の増減は、これまで増加幅が縮小傾向で推移し、平成17年に戦後初めて前年を下回った後、増減を繰り返してきましたが、23年に25万9千人の減少となり、24年は2年連続の大幅減少となりました。

日本人人口は1億2595万7千人で、前年に比べ22万3千人（0.18%）

となり、2年連続で大きく減少しました。

総人口を男女別にみると、男性は6202万9千人（総人口に占める割合48.6%）で、前年に比べ15万4千人（0.25%）減少と5年連続で減少、女性は6548万6千人（同51.4%）で12万9千人（0.20%）減少と2年連続の減少となっています。

自然増減（出生児数－死亡者数）をみると、出生児数は、第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており、平成24年は104万7千人で前年に比べ2万7千人の減少でした。一方、死亡者数

は、125万1千人で前年に比べ2千人の減少となり、出生児数が死亡者数を20万5千人下回り、6年連続の自然減少、減少幅は拡大しています。男女別では、男性は8年連続、女性は4年連続の自然減少でした。

社会増減（入国者数－出国者数）をみると、入国者数は275万7千人、出国者数は283万6千人で、共に前年に比べ7万1千人の増加となりました。この結果、入国者数が出国者数を7万9千人下回り、男女別では、男性は5年連続の社会減少、女性は2年連続の社会減少となりました。

総人口の人口増減数及び人口増減率の推移（昭和25年～平成24年）



(注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口（期首人口）で除したものの。